

北海道帯広南商業高等学校

NSE48 (NANSHO ECO 48)

NSE48のエコ活動

生徒会でエコ委員会を設立。別名NSE48(南商工48)。単に「エコ活動」を主として取り組んできたのではなく、「地域環境の保全」が今日の最重要課題であることを掲げ、活動全般を通じて環境を守る大切さを尊重し環境にやさしい学校づくりを目指して取り組んでいる。



市立札幌旭丘高等学校

生物部

トンボの調査から自然環境を診断

トンネウス沼におけるトンボ相の移り変わりを調査している。トンボ相を継続的に調査することで、地域の水中環境や陸上環境を推定することができる。本研究ではトンボ相が北方系種から南方系種に移り変わっていることが明らかとなり地球温暖化との関係について考察を進めた。



北海道七飯高等学校

科学部

渡島大沼における生物多様性を保全する取り組み

七飯町の渡島大沼は、近年急速に水質が悪化。科学部では、水質が悪化する原因を明らかにし水質浄化を実施。また、大沼には多くの外来種が存在することを知り、特定外来生物であるウシガエルの生態を中心に大沼に生息する外来生物について研究を進めている。



北海道函館水産高等学校

なかの研究所

大沼および流入河川の水質改善活動

渡島大沼青年環境サミットに10年以上参加している。大沼の水は、最終的に函館湾に注いでいるが、水質が富栄養化していることがわかった。流入河川の水質調査と平行して、今年度より流入河川の魚類調査を開始。今後も継続し、最終的に函館湾の環境保全につなげたい。



東 北 34 団体



東北地区は、

「全国ユース環境活動発表大会応募高校」、
「東北地区 高校生 SDGs セミナー参加高校」、
「環境甲子園応募高校」の環境活動を紹介しています。

(協力:NPO法人環境会議所東北)

青森県立むつ工業高等学校

課題研究 地中熱融雪研究班

地中熱利用による融雪研究

自分たちの手で地中熱融雪装置を設計・製作し、融雪状況の検証を行い、システム改善や地中熱利用の将来性について考察している。将来はビニールハウスを建て、「工業」と「農業」のコラボレーションを行い、地球環境に優しい融雪、温室栽培、産業育成等に挑戦したい。



青森県立尾上総合高等学校

研究グループ「アースキッズ」

生物多様性の大切さを子どもたちに知ってもらうために

SDGsの各項目について、地域の課題解決をするための研究を行っている。「生物多様性」に着目し、その大切さを子どもたちに知ってもらうために、「触ること」「つくること」「食べること」などを通じて学べるイベントを考え、計画し、そして実行している。



青森県立柏木農業高等学校

生物活用班

白神山地からニセアカシアを追いかどう～世界遺産の未来のために～

白神山地周辺地に旺盛に繁殖している外来種のニセアカシア。このまま繁殖を放置しておくとブナのように成長に時間がかかる広葉樹が駆逐されてしまう危険性がある。そこで、これを食い止めるためにニセアカシアの伐採や駆除活動を含めた緑化活動を実施している。



八戸工業高等専門学校

ろぼっと娘 in モンゴル

リサイクル支援ゲームの開発

リサイクルが定着していないモンゴルで、小学生を対象にパソコン用のゲームを開発。内容は、3Rの大切さ、リサイクルの仕方、その後ごみの分別を模したミニゲーム。モンゴルでは、地域のリサイクルのサークル活動をしている学生達と話し合いをしながら開発を進めた。

青森県立名久井農業高等学校①

TEAM FLORA PHOTONICS & BUBBLE BOYS

安全な水とお腹いっぱいの食料を届けるために

発展途上国では富栄養化によって発生した藻類が水に有毒物質を出し、子供たちや家畜の命を奪っている。また散布した農薬が水源を汚染している。さらにこれらの国は食糧不足も深刻。そこで新しい技術を開発し、世界の水質汚染と食糧不足の問題解決に貢献する活動をしている。



青森県立名久井農業高等学校②

環境班

電気がキノコの発生に及ぼす影響～迫り来る環境異変の前に～

キノコは低温や雷、菌かきなど物理的な刺激によって原基形成が促されるといわれている。今回、実験で培地内の電圧及び電流の変化によって発生を促せること、そしてその結果、増収できることを証明した。今後も、環境保全と暮らしに役立つ農業技術へ発展させたいと考えている。

